



特集号 林四郎さん 祝「北海道知事賞」受賞 平成29年度 北海道スポーツ賞



この度、菊水地区会館の林四郎さんにおかれましては、平成28年度の北海道スポーツ賞「北海道知事賞」を受賞(平成29年1月25日)されました。林さんは、元札幌ゲートボール連合副会長として、地域社会において生涯スポーツや競技スポーツの普及振興に貢献し、顕著な功績を上げられたことが認められ、北海道で4名の方が受賞されたものです。3月25日(土)菊水地区体育振興会主催による、受賞祝賀会が菊水地区会館において盛大に開催されました。この日は、白石区(可児)区長、菊水町内会連絡協議会(高橋)会長始め、多くのご来賓よりお祝辞を頂き、今後も新しい気持ちでスポーツの振興に取り組んで参ります……豊富を語って居られました。

平成28年度「定期総会」6月に開催されました！

6月25日(金)午後2時より、平成28年度「菊水地区まちづくりネットワーク会議」定期総会が菊水地区会館において開催されました。平成27年度の事業及び決算関係の報告に続き、平成28年度の事業計画(案)について活発なご審議を頂き、全会一致で承認をいただきました。定期総会終了後は、各事業部ごとに、事業部長中心に、担当事業の具体的実施方法等につき、確認が行われました。



「全町一斉清掃」ネットワーク会議より「ごみ袋」を提供。

札幌市は、春、夏、秋の3シーズンに全市一斉清掃デーを設け、各地域、団体ごとに市内美化活動を実施していますが、菊水地区においても春の一斉清掃を5月24日に、夏の一斉清掃日を7月24日、秋の一斉清掃日を10月16日にそれぞれ実施致しました。環境もシーズンによって特徴があり、春の清掃時日には空き缶やタバコのポイ捨てが多く、夏はゴミステーションの悪臭が気になり、秋は落ち葉や枯れ葉の処理に悩む。そんな、事情も会話の一つ、終わった後はお茶を頂きご苦労様でした。



第5回菊水地区「親睦パークゴルフ大会」 恵庭るるマップ！



8月11日(木) 恵庭「るるマップパークゴルフ場」において開催されました。当日は晴天に恵まれ、参加者57名(内スタッフ2名)が36ホールを廻り、競技終了後はゴルフ場レストランで、昼食、表彰式、と「健康づくり」や「地域の親睦」有意義な一日となりました。男子の部優勝者はｽｺｰ108で東町(本田哲敏)さん、女子の部優勝者はｽｺｰ117で北町(川崎一代)さんでした。お疲れ様でした。

「ボウリング大会」オリンピックボウルにて開催！

10月5日(水) 菊水町内会連絡協議会・女性部「健康づくり実践会」主催のボウリング大会がオリンピックボウルにおいて開催されました。この大会は、現在「健康づくり実践会」と菊水地区まちづくりネットワーク会議 福祉部が協力して実施することとし、男性も含め広く参加をつのり、更なる会員相互の親睦を深めて行くことを目的にして開催されています。参加者59名



第5回 菊水地区「防災訓練」

11月19日(土) 菊水地区会館において、白石消防署 菊水出張所のご協力により、第5回 菊水地区「防災訓練」が開催されました。これは、菊水地区まちづくりネットワーク会議 安全・安心部が主催したのですが、突然災害が発生すると、恐怖感や周囲の見慣れぬ光景に、誰もがパニックに陥ってしまいます。この様な場合でも、各自が落ち着いて、適切な行動が取れる様、日頃から、定期的な繰り返し訓練により、緊急事態に慣れておく事、そして身体で覚えておく事が大切です。安全・安心部では、今後も継続して実施して参りますので、多くの地域の方々の、参加をお待ち致します。



第5回「菊水ふれあい音楽祭」

菊水地区まちづくりネットワーク会議 環境・文化部では、毎年10月23日(日) 菊水地区会館において、「菊水ふれあいフェスティバル」を開催。今年で、第5回を迎え、出演者も専属コーラスの「コーラスどんぐり」おなじみ「菊水源流太鼓」地元女性コーラス「バウムクーヘン」「ギター&サクソ」「札幌東高等学校フォークソング部」「喜代民謡研究所」の熱演により、時間がたつのも忘れ、瞬間の2時間でした。観覧者は約150名 出演者は50名でした



「パソコン教室」北海道情報専門学校において開催

菊水地区まちづくりネットワーク会議主催のパソコン教室が 11 月 28 日（火）～11 月 30 日（木）までの 3 日間に亘り、北海道情報専門学校において、地域の方々 20 名が参加、講師は現役バリバリの生徒さん約 20 名。内容は、Word による案内状やチラシの作成、地図や写真の貼り付け方、はがきの住所印刷など、実践的なものばかりでした。過去にも、インターネットの活用事例として「You Tube、英語→日本語の翻訳、地図・観光地・旅行先道路ルート検索、病院・薬関係の検索、お気に入り・ウィキペディア・知恵袋の活用」を講座に取り入れて頂き、PC の楽しさもアピール。



「お年寄りと子どものふれあい交流会」開催！

1月12日（木）菊水地区会館において、地域の「お年寄りと子ども達との交流会」が開催されました。これは昔遊びの伝承や世代間交流などを目的に、菊水地区まちづくりネットワーク会議が主催し、地域の各団体が協賛して実施しているものです。お年寄りと子供たちが即席のチームで一緒に楽しいゲームや、手作りおもちゃにチャレンジ、お昼には、おいしい豚汁とおにぎりを頂き、午後からは、子ども太鼓（源流太鼓）や児童会館の児童による合唱。楽しい時間を過ごしました。約100名の参加



第19回 菊水地区「雪中運動会」市立上白石小学校で開催！



1 月 28 日（土）午前 10 時より札幌市立上白石小学校において、第 19 回 菊水地区「雪中運動会」が開催され、地域の子ども達を中心に 350 名（子ども 220 名、大人 130 名）が参加。当日はあいにくの小雪模様でしたが、子ども達は元気いっぱい、競技の進行は、何時もの様に市立幌東中学校生徒会の役員が司会を務め、放送局員も一緒に楽しく盛り上げ、子ども達は大喜び。途中温かいお茶を頂き、運動会終了後は、PTA お母さん方手作りの災害時の炊き出し訓練を兼ねた豚汁を試食。運動会終了後の閉会式には、次年度開催の市立幌東小学校の P T A 会長から歓迎のご挨拶を頂き解散と成りました。

第5回「安全・安心まちづくり活動」総決起大会を開催

3 月 15 日（水）菊水地区会館において、白石区役所市民部総務企画（田辺）課長、白石警察署刑事生活安全課（西中）係長、白石区交通安全協会（西村）専務理事をお迎えして日頃より地域の安全・安心活動に取り組んでいる、関連団体が一同に会し、市民による自主活動の重要性を広く訴え、防犯意識の高揚、地域における連帯感の強化を目的に「安全・安心まちづくり活動」総決起大会を開催致



白石区「成人の日」行事開催。

1月9日（月・祝）新春を迎え、社会の一員として晴れやかなスタートをきる新成人を祝福し、その前途激励する白石区「成人の日」記念行事がコンペンションセンターにおいて開催されました。この行事は、白石区「成人の日」行事实施委員会が主催したのですが、委員会の構成は、白石区、白石区町内連合会連絡協議会、白石区連合女性部連絡協議会、白石区青少年育成委員会連絡協議会、白石区民生委員児童委員協議会で執り行われました。



♪ ♪



♪ ♪



♪ ♪



♪ ♪

当日はあいにくの小雪模様でしたが、大勢のご来賓をお迎えした中で、羽織袴や振袖、ホールはまぶしいばかりの晴れ姿に身を包んだ新成人でいっぱい。会場に訪れた新成人は1040人。

（対象者は1828人）

式典が行われた会場では、各卒業校の担任の先生より「お祝いの言葉」をビデオ上映し、式典直前には札幌本陣太鼓の演奏。旧友との久し振りの再会に話しも弾み、会場入り口は身動きがとれない程の混雑に、スタッフもお慌て、式典開始前に入場出来ないのでは心配するも、式典開始前に入場完了。 ほっと一息！

「菊水地区まちづくりネットワーク会議」ってなんですか？

札幌市では、平成 19 年 4 月に「自治基本条例」が施行されました。これは市民が主役になって「まちづくり」を進めるためのルールです。市民、議会、行政のそれぞれの役割や、仕組みが規定されています。「だれかがするだろう」「それは行政の仕事だ」と無関心でいるのではなく、ひとりでも多くの市民が参加し「自分達の地域は自ら考え、皆と一緒によりよくして行く」そして「行政と連携・協働しながら地域づくりをして行く」これが「住民自治」であり「菊水地区まちづくりネットワーク会議」です。地域のことは、地域に住む人が一番よく知っています。困っていることがあれば、まず自分達でやってみる、必要なら行政と協力して問題を解決して行く、これが「住民自治」です。



わが国の、人口構成の高齢化は世界に例のない速さで進んでおり、様々な問題が指摘されています。あるデーターによりますと、現在65歳以上の高齢者は、3,277万人（26%）ですが、20年後には3,667万人（32%）となり、日本人の3人に1人は高齢者となるわけです。高齢化社会の問題点としては、★社会保障費の増大 ★医師不足・看護師不足 ★生産年齢人口の減少 ★経済の鈍化・・・が指摘されているわけですが、抜本的な解決策は見あたりません。私自身も立派な後期高齢者ですが、自分の問題としては深く考えたことはありませんでしたし、高齢化問題への対応といっても、個人レベルの対策・対応と、国家レベルあるいは社会的な対応では大きな違いがあります。個人レベルの対応策としては、健康を維持して「生涯現役」を貫き、「コロリ」と終末を迎えることぐらいしか考えていません。わが国の人口構成の高齢化の問題点は明確になっているのに、その対策・対応策は実効性のある政策になっていないのはなぜでしょうか？ そのことこそが、高齢化社会を迎えたわが国の最大の問題点ではないかと思います。

編集子